

神奈川県原水協通信

2020年定期総会(6/27)開催！

コロナ危機を乗り越える勇気の出た総会
 延期されていた県原水協2020年度定期総会が、41人が参加して6月27日行われました。
 開会のあいさつで、住谷和典さん(神奈川県原水協)
 連議長は「原水協結成以来、核兵器廃絶運動で果たした役割は大きい。コロナ禍で新たな役割が強まっている。提案された議案の活発な討論を期待します」と呼びかけました。片野憲二
 県原水協理事長は、冒頭、長い間原水協事務局長として活動された永沢丈夫さんが4月5日逝去され、全員に黙祷が呼びかけられました。そして、核兵器廃絶運動の新しい展望を切り開き、原水協の財政危機を乗り越える決意を表明しました。総会に駆けつけた日本原水協の安井正和事務局は、コロナ禍での新しい運動、特に、8月のオンライン世界大会の重要な意義と豊かな内容について報告しました。
 県原爆被災者の会、県生協連からのメッセージが寄せられました。討論では、ポストコロナの新しい運動、平和の波の計画、様々な活動報告があり、提案された全議案が確認されました。
 役員選出では、新たに副理事長に渡部慶子さん、会計監査に安中信雄さんが選出されました。



コロナ危機を乗り越え、署名達成、オンライン世界大会・「平和の波」を成功させよう！新しい運動に挑戦しよう！

- ★ポストコロナの情勢変化と新しい運動創造・構築のため大いに学習しよう。
激しく動く世界と日本の情勢を「未来パンフ」で学習しましょう。オンライン学習会もやりましょう。
- ★ヒバクシャ国際署名、ラストスパート！
オール神奈川100万筆達成へ、県原水協50万筆を早期にやり切ろう。
ヒバクシャ国際署名はラストスパートです。目標達成へみんなで励まし学び合い力を出しましょう。
- ★5つの「核兵器廃絶・平和のグッズ」を広く周りの人に広げましょう。
今の活動になくてはならない「5つのグッズ」です。多くの人と語り合い行動し合ひましょう。グッズは、活動のエネルギーを引き出し、活動に勢いをつけます。まず、あなたの手元にグッズをそろえて。
- ★県原水協の財政危機募金をみんなの力で達成させよう。
原水協は、市井の人々の浄財・募金で60年間活動してきました。コロナ禍での財政危機を乗り越えるのは、町の人々の平和を願う声と力です。募金は、訴えれば必ず応えてくれます。がんばりましょう。

2020総会決定をみんなのものに

神奈川県原水協財政危機打開募金にご協力を

原水爆禁止運動は 歴史的重要な局面に
 今年は、ヒバクシャ国際署名集結の年、核兵器禁止条約を発効させる年、そして、コロナ禍で人類的脅威に直面する年となりました。まさ、歴史的な年です。
 私たちは、この歴史的局面を前進的に切り開く新しい運動に挑戦しています。新型コロナウイルスの感染拡大で、様々な活動が困難になる中、この情勢の中で、できる活動を創造し進めています。
財政的困難も深刻
 例年、ピキニデー・平和行進・世界大会などの活動で、多くの市民、参加者から募金を寄せていただき原水協の活動を進めてきました。
 しかし、今年は、その募金がほとんど無くなり財政的な危機を迎えています。
500万円緊急募金を
 今年の総会は、県原水協の財政危機を打開するため「県原水協財政危機打開緊急募金」を全力で取り組むことが確認されました。早速、事務所に募金が寄せられています。
 目標必ずやります」の報告も、みなさん、募金へのご協力よろしく願います。